

(1) 例会・懇談会事業

1) 会員例会

政治、経済、経営、文化等の最新情報などを聴く講演会を開催する。

また、懇親の場として立食パーティーを年間3回開催する。

<開催日時> 毎月1回(年間12回)

<場 所> 岐阜グランドホテル

<対 象> 全会員

平成19年度の調査研究に基づく提言を発表し、本県の活性化について行政機関などと意見交換する「第20回岐阜県サミット」を開催する。

講演会の講師選定や運営方法などについて意見交換する「例会モニター会議」を実施する。

2) 産学官懇談会

産・学・官の交流を促進するため、学と官を中心とする「ゲスト会員」と本会会員を構成メンバーとして懇談会を開催する。懇談会では、省庁の高官、大学教授、経済人などを講師に迎えて講演会を開催する。

<開催日> 年4回

<場 所> 岐阜グランドホテル

<対 象> 産学官懇談会の登録会員

講演会の運営方法などについて意見交換する「産学官モニター会議」を実施する。

3) 地域懇談会

遠隔地である飛騨、東濃、中濃地区の会員を対象に懇談会を開催する。懇談会では、各地区の活性化について議論するとともに、会員相互の交流を深める。

(2) フォーラム事業

* 「フォーラム」とは、会員が自由に意見交換、情報交換する広場のこと。
本年度から会員相互の交流をいっそう推進する。

1) 次世代経営者フォーラム

本会会員などが講師となり、今後活躍が期待される県内若手経営者に経営哲学などをレクチャーし、トップとしての資質や経営能力の向上を図ることで地域経済の活性化に寄与する。

2) 企業経営フォーラム

変化の激しい時代のなかで、企業経営は柔軟かつスピーディな対応を余儀なくされているため、企業経営の最新のトレンドや直面する様々な課題について理解を深めるとともに意見交換するほか、会員企業の製品やサービスなどをアピールし、会員企業間のビジネス交流を促す“一言PR”も実施する。

なお、必要に応じ、国内の先進企業などを視察する。

3) 同友フォーラム

会員のニーズに対応し、社会に生起する諸課題について行政等から情報提供を受けるとともに意見交換する。

(3) 調査提言事業

1) 岐阜県の教育を考える委員会

昨年度の代表提言事業を踏まえ、企業や経済団体と行政が連携し、子どもの教育への支援活動を展開するためのスキームや具体的な方策について検討したうえで、実現化に向けて活動する。

2) まちづくりを考える委員会

本年10月に観光庁が新設されるなど、観光振興への動きが本格化する。観光振興を中心に様々な要素を踏まえながら、今後の高速道路沿線地域のまちづくりを検討し、具体的なビジョンを作成する。

(4) 代表提言事業

必要に応じ、代表幹事会で緊急性の高いテーマを題材に、提言を取りまとめる。

(5) 経済団体との交流事業

1) 全国経済同友会セミナー

全国の経済同友会のメンバーが集まり、わが国の課題について理解を深める「全国経済同友会セミナー」に参加する。＜4月10・11日、京都市で開催＞

2) 経済同友会中央日本地区会議

わが国の中央地域に位置する9同友会（岐阜県・中部・静岡・富山・金沢・福井・新潟・信州・山梨）の幹部が、交流を深めるとともに広域的テーマについて意見交換する「経済同友会中央日本地区会議」に参加する。＜秋ごろ、新潟県で開催＞

3) 岐阜県下財界新春懇親会

本会、岐阜県商工会議所連合会、社団法人岐阜県経営者協会との共催により「岐阜県下財界新春懇親会」を開催する。＜1月開催＞

(6) 会務執行

1) 意見交換会

本会の活動全般について代表幹事と会員が意見交換する。

2) 企画総務委員会

代表幹事会の諮問を受け、本会の活動方針、財政、役員選任などについて検討する。

3) 幹事会

必要に応じ、会務の重要事項を審議する。

県政や企業経営に関する諸問題について理解を深めるため、県首脳等をゲストに招いて懇談会を開催する。

4) 常任幹事会

本会運営全般にわたり企画立案を行い、会務を決定し執行する。

5) 代表幹事会

本会運営に関する基本事項を審議する。

公益法人制度改革に伴い、本会のスタンスについて検討する。

円滑な事業の遂行のため、代表幹事と各事業の委員長が懇談する。

以 上